

2022 トツプリーダー男女平等参画推進宣言

アンコンシャス・バイアスを克服し、ジェンダー平等を実現しよう!



日本労働組合総連合会山形県連合会
会長 **船山 整**

世界経済フォーラムが公表した、2021年のジェンダー・ギャップ指数は、日本が0.656で、世界159か国中120位、世界の流れから完全に遅れをとっています。連合山形は、男女格差解消、ジェンダー平等の取り組みを、着実に進めていきます。



連合山形 男女平等行動委員会 委員長 **齋藤 和喜**

「男女平等月間」は、2004年に連合が設定し、労働組合活動への女性の参画促進と男女平等の推進に向けて取り組んできました。

連合山形では、女性のための労働相談の実施、男女平等推進や政治への関心喚起に関する学習会の実施（男女共生集会）等を行い、誰もが安心して働き続けられる職場環境の改善に取り組んでいきます。



JAM山形県連合会
会長 **納富 聡**

JAMでは「新男女平等参画アクションプラン」を策定し、すべての組合が女性参画率30%達成への行動目標を設定するとともに、単組・地方JAM・JAM本部が連携し、取り組みを加速させていくことが重要です。とりわけ、男女平等参画の推進は「女性だけの課題」ではなく、「組織全体の課題」であるとの共通認識を持たなければなりません。JAM南東北「男女共同参画推進委員会」の積極的な取り組みを通じて、着実な目標達成に向けて、単組実態調査やプロジェクトなどを立ち上げ、進捗状況、課題抽出と検証、方針の補強や見直し等を実施します。



JR総連 山形県協議会
議長 **大山 貴聡**

JR総連は女性組合員は少数ですが、組合活動へのさらなる参画とジェンダー平等の実現のために意見交換を通じてジェンダー・バイアスや固定観念など、克服すべき課題を見つけ出し、改善していきます。



J-P労組山形連絡協議会
議長 **西部 政行**

男女共同参画において重要なのは、男女がお互いを認め、尊重し合い、平等に声を挙げることです。そのためにお互いを理解するための学びと女性が活躍できる環境づくり実現のため、連合と連携し運動を進めてまいります。



JEC連合山形地方連絡会
議長 **湊屋 輝明**

超少子・高齢化社会の到来により、労働力人口が減少していく中、男女が共同し社会に参画していくことの重要性は増している。私たちは、誰もが自らの意思による働き方の選択ができ、公平公正な社会や職場をつくることを目指して取り組んでいきます。



U Aセンセン山形県支部
支部長 **蒲原 清天**

企業では既にダイバーシティの環境として、多様（性別関係なく）な人材を積極的に活用する動きがあります。いわゆる性別を超えたチャレンジです。一方、ダイバーシティを女性促進と勘違いして失敗する企業が多発しています。忖度することなく相手の意見を聞くことや相談することの習慣化がダイバーシティや男女平等参画の基本だと思います。現行制度を学ぶことはもちろん、各職場に実在する事実を吸い上げて改善していくと運動し続けていきます。



基幹労連山形県本部
委員長 **壺丸谷 淳**

私たち基幹労連では、男女平等参画を推進するため、運動方針に「男女平等参画の推進」を明記し活動を進めています。男女それぞれの課題を共有し、解決に向けた取り組みを行い、何方かに偏った政策ではなく、共に働きやすい環境を構築できるよう活動を推進します。



山形県教職員組合（県教組）
執行委員長 **遠藤 学**

私たち山形県教職員組合は、男女平等参画推進に力強くとりこんでいます。性別で分けられない名簿（男女混合名簿）の全校導入や学校制服のジェンダーフリー（スラックス等の選択制）推進をはじめ、各種会議・集会等への女性参画率向上に努めていきます。



交通労連 山形県支部
委員長 **中川 賢一**

交通労連は次世代に向けて女性組合員の運動への参画を促します。活力ある運動を展開するためには女性活動の果たす役割は大きい。さらに時代や職種に合わせて内容の変更も行いながら活動を安定的に継続し、男女平等参画社会の実現に向けて積極的に取り組んでいきます。



山形県高等学校障がい児学校教職員組合（高教組）
執行委員長 **大西 正明**

日本で男女平等参画が進展しない要因は、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）が大きいと言われる。自分自身に「今、私は『決めつけていないか』『押しつけていないか』」と問い続けることで、このやっかいな「内なる差別」を克服しましょう。



連合山形山形地方協議会
議長 **岡田 洋輔**

山形地協は、性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態等にかかわらず、性的指向・性的自認の尊重など、誰もが多様性を認め合い、共に働ける職場環境の改善に向け、「真の多様性」について意識の醸成をはかります。



自治労山形県本部
執行委員長 **渡部 貴之**

自治労は、男女がともに担う自治労運動を通じて、誰もが対等・平等で人権が尊重された社会の構成員として、さまざまな分野への参画の機会が尊重され、役割と責任を分かち合う「地域・社会」「職場」「労働組合」の形成をめざしています。



連合山形酒田海地域協議会
議長 **阿藤 秀一**

人間は1個の人格として尊重され平等に扱われなければならない。性別を理由とした不平等な取り扱いはありません。一方で性別の尊厳を守る配慮も必要です。人々が平等だと感じられる社会をめざしていきます。



情報産業労働組合連合会山形県協議会（情報労連）
議長 **丹野 忍**

私達は、ジェンダー平等・多様性が尊重される社会の実現に向け改正女性活躍推進法等の周知・点検の徹底とポジティブ・アクションに取り組むとともにハラスメント対策と育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備に取り組まします。



連合山形新庄最上地域協議会
議長 **今田 美津良**

男女が、互いにその人権を尊重しつつ、性別にかかわらず個人として尊重され、対等な立場であらゆる活動とともに参画し、責任を分かち合う男女共同参画社会の実現を連合山形新庄最上地協として目指していきます。



政府関係法人労働組合連合会山形地連（政労連）
議長 **原田 直之**

政労連山形地連は、男女が共に尊重し、生き生きと働ける職場環境を整備していきます。ワークライフバランスを確立するためには、男女が協力しあい、平等にさまざまな機会が与えられことが重要と考え、参画意識の向上に努めます。



全国自動車交通労働組合連合会山形地方本部（全自交労連）
執行委員長 **遠藤 栄二**

全自交労連としては、業種的に非常に女性進出が遅れています。高齢化が急速に進み、また若い世代の雇用が進まない中で、人手不足が深刻化している状況です。この様ななかでの女性の雇用は、業界としても期待しているところです。労働条件・労働環境を整え、男女平等参画社会への実現に向けて取り組んでいきたいと思ひます。



全日本水道労働組合東北地方本部山形県支部（全水道）
執行委員長 **本間 悟**

全水道山形県支部は、女性が仕事も家庭も大事にしながら働ける職場づくりと女性の活躍の場の拡大に向け、積極的に取り組んでいきます。組合活動でも役員への登用など、女性リーダーの養成も推進します。



全日本自動車産業労働組合総連合会山形地方協議会（自動車総連）
議長 **佐藤 篤志**

すべての働く仲間が対等に思いやり、互いに支えあうことのできる職場・社会の実現に向けて取り組み、女性が活躍できる職場の拡大、仕事と生活の調和が取れる社会の実現をめざします。



連合山形置賜地域協議会
議長 **船山 勇幸**

男女平等参画社会の実現は、「安心して働き続けられる職場」の構築には欠かせない大切な課題の一つです。連合置賜は男女平等参画の重要性は十分認識しつつも、運動の拡大については多くの課題を抱へ思うように広がっていないのも事実です。男女平等月間を契機に、この取り組みを前進させるためには「何が出来るのか」を幹事会等で議論し運動の拡大に努めてまいります。



電機連合山形地域協議会
議長 **柿崎 隆英**

男女がともに仕事と生活の調和を図りながら、性別や年齢、雇用形態に関わらず一人ひとりの持つ能力や個性が発揮できる職場環境作り、すべての労働者がゆとりと豊かさが実感できる生活の実現を目指し、男女平等社会を実現していきます。



運輸労連山形県連合会
執行委員長 **青木 孝典**

運輸産業は、女性ドライバーが実働2万人しかおらず、まだまだ女性が少ない産業ですが、組合員の率直な意見を汲みながら、女性が働きやすい職場環境を整えとともに産別組織として男女平等社会の実現に取り組んでいきます。



連合山形北西村山地域協議会
議長 **高橋 達朗**

すべての労働者の働き方を見直し、均等待遇と仕事と生活のバランスを大切にした環境を目指し、誰もが安心して働き続けられる職場環境の実現をめざそう。そして、連合の輪を広げ、一人ひとりが真に尊重される社会の実現に向けて共に頑張りましょう。



東北労働金庫労働組合山形県支部（労金労連）
支部委員長 **松田 江美**

男女平等共同参画推進に向けて、男女ともに安心して働き続けられる職場環境をつくるために活動を進めます。また、労働組合への女性組合員の積極的な参画、組合役員への選出を進めるための環境整備に向けた取り組みを行います。男女平等対策専門委員会を設置し、ジェンダーレスをテーマとした全組合員集会を開催し、議論を深めます。



連合山形鶴岡田川地域協議会
議長 **阿部 一寛**

連合山形鶴岡田川地域協議会では、環境、平和、男女平等参画など男女の特性と主体性を活かした活動を進め、男女があらゆる場に平等に参画し、ともに働く喜びを実感できるような、公平で公正な職場を実現し、社会の制度や慣行、働き方、一人ひとりの意識や行動を変えていく活動を目指します！何事も楽しんで共に頑張りましょう。



全労済労働組合北海道・東北支部山形分会
分会長 **芳賀 崇朗**

全労済労連では連合「ジェンダー平等推進計画」を踏まえた推進計画を策定するとともに、日々の職場内コミュニケーションを大切に、さらなる男女平等参画の推進や男女がともに活躍できる職場環境の整備に取り組んでまいります。

※順不同